

令和6（2024）年度
西多摩地域入込観光客数
調査報告書
（概要版）

令和7（2025）年3月

西多摩地域広域行政圏協議会

1. 調査概要

(1) 調査目的

西多摩地域入込観光客数調査（以下「本調査」という。）は、多様化する観光客のニーズを的確に把握し、西多摩地域を構成する市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）における今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

(2) 調査期間

令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年1月31日

(3) 調査対象

1. 観光地点 52地点
2. 行祭事・イベント 33地点

2. 調査方法

観光客の実態をよりの確に把握するため、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準（平成21（2009）年12月策定・令和5（2023）年改定）」を参考に、以下の調査により、西多摩地域の観光入込客数、観光消費額単価および観光消費額等を取りまとめる。

(1) 観光地点等入込客数調査

西多摩地域の観光地点および行祭事・イベントに訪れた人数を調査するもので、来訪者数調査、主要観光施設・宿泊施設等利用実績調査および行祭事・イベント等入込者数実績調査から構成する。

1. 来訪者数調査

目 的：利用者実績が得られない観光地点の年間入込観光客数を推計するための基礎数値を得ることを目的とする。

調 査 項 目：調査時間内における観光地点の来訪者数

調査対象者：18観光地点の来訪者（資料1-1-1参照）

調 査 方 法：以下の人流データを用いて国内居住者、インバウンドそれぞれにおける来訪者数の推計値を把握する。

国内居住者；KDDI系携帯電話端末利用者のGPSデータ

※ データは国勢調査を基準とする人口統計に基き、KDDI系以外のキャリア利用者も含む国内居住者全体への拡大推計処理を行う。

インバウンド；海外版「NAVITIME」アプリ利用者のGPSデータ

実施時期：国内居住者、インバウンドそれぞれについて、以下の期間の来訪者数および性別・年代等の属性データを取得する。

国内居住者；令和6（2024）年8月、令和6（2024）年11月
各1か月間

インバウンド；令和6（2024）年1月～12月 1年間

2. 主要観光施設・宿泊施設等利用実績調査

目的：主要観光施設・宿泊施設の利用者数を得ることを目的とする。

調査項目：施設種類、各月の利用者延べ人数、施設の取組みや課題等（アンケート）

調査対象者：主要観光施設；37箇所

宿泊施設；110箇所

調査方法：上半期・下半期の2回、調査票を配布し、郵送またはWEBフォームにより回答を回収する。

調査時期：上半期；令和6（2024）年1月～令和6（2024）年6月

下半期；令和6（2024）年7月～令和6（2024）年12月

3. 行祭事・イベント等入込者数実績調査

目的：お祭りや季節イベント等の入込者数を得ることを目的とする。

調査項目：延べ人数（過去2年間の平均数値）

調査方法：各市町村からの提供データ

実施時期：令和6（2024）年11月

※ 調査対象期間は令和5（2023）年～令和6（2024）年

（2）来訪者アンケート調査

目的：入込観光客数の推計に必要な「日帰り率」や「訪問地点数」等の把握を目的とする。

調査項目：年代、性別、旅行目的、同行者、西多摩地域を選んだ理由、来訪するきっかけとなった情報源等

調査対象者：観光地点（資料1-2-1参照）の来訪者（日本人および外国人）

調査方法：日本人対象；夏季34地点、秋季33地点

外国人対象；夏季16地点、秋季15地点

実施時期：夏季3日間（平日・土曜日・日曜日）

秋季3日間（平日・土曜日・日曜日）

※ 春季および冬季は、季節変動を考慮して秋季の調査結果を適用する。

（3）観光消費額等調査

目的：来訪者による観光消費額等の把握を目的とする。

調査項目：西多摩地域滞在中の消費金額（項目別）、年代、性別、西多摩地域で買ったもの・体験したいこと等

調査対象者：令和6（2024）年1年間に西多摩地域を観光で訪れた人

調査方法：「LINE」スマートフォンアプリ上で回答するアンケートを実施した。
アンケートに遷移する二次元コードを掲載したチラシを来訪者アンケート調査時に配布するとともに、地域内の観光施設等に配架し回答を収集した。

実施時期：令和6（2024）年7月～令和6（2024）年12月

3. 調査結果（推計値）

（1）入込観光客数（実人数）

令和6（2024）年の西多摩地域における入込観光客数（実人数）は、615.5万人だった。そのうち、日帰り客は571.9万人、宿泊客は37.3万人となった。

（単位：万人回）

区分	日帰り客	宿泊客	インバウンド	合計
入込観光客数	571.9	37.3	6.3	615.5
（実人数）	92.9%	6.1%	1.0%	100.0%

※インバウンドは日帰り、宿泊の把握をしていないため単独で表記している。

（2）入込観光客数（延べ人数）

令和6（2024）年度の西多摩地域における入込観光客数（延べ人数）は、775.3万人だった。そのうち、日帰り客は729.2万人、宿泊客は39.8万人となった。

（単位：万人地点）

区分	日帰り客	宿泊客	インバウンド	合計
入込観光客数	729.2	39.8	6.3	775.3
（延べ人数）	94.1%	5.1%	0.8%	100.0%

※インバウンドは日帰り、宿泊の把握をしていないため単独で表記している。

また、延べ人数の算出が困難であるため実人数をそのまま使用する。

※単位は観光地内の観光地点・施設を訪れた利用客数の合計値（延べ人数）。

1人の観光客が複数の観光施設・地点を利用すると重複して計上される。例えば、1人の観光客が3つの施設を利用すると、3人地点と数える。

※「行祭事・イベント入込者数」については、明確なカウント方法が確立されていないことから、国が別立て表記としていることに準拠し、本調査の報告書においても別立て表記としている。

（３）季節別入込観光客（延べ人数）

1. 春季（３～５月） 2 3 7.7 万人
2. 夏季（６～８月） 1 8 9.6 万人
3. 秋季（９～１１月） 2 3 1.4 万人
4. 冬季（１２～２月） 1 1 6.6 万人

※訪日外国人は年間の入込観光客数のみを把握しているため、４分割した数値を各季に計上している。

（４）行祭事・イベント入込者数

行祭事・イベント入込者数の推計値は、1 6 9.7 万人だった。

季節別では夏季（６～８月）が最も多く 7 9. 3 万人であり、次いで春季（３～５月）が 4 7. 9 万人、秋季が（９～１１月）が 2 8. 5 万人、冬季が（１２～２月）が 1 4. 1 万人となった。

（単位：万人地点）

区分	春季 (3～5 月)	夏季 (6～8 月)	秋季 (9～11 月)	冬季 (12～2 月)	合計
行祭事・ イベント (延べ人数)	47.9	79.3	28.5	14.1	169.7
	28.2%	46.7%	16.8%	8.3%	100.0%
行祭事数	7	8	11	7	33

※ 実施期間が２か月以上にわたる行祭事は、開催初日の月に行祭事数を計上している。

（５）観光消費額単価、観光消費額

令和 6（2 0 2 4）年の西多摩地域における観光消費額は、6 9 3 億円だった。

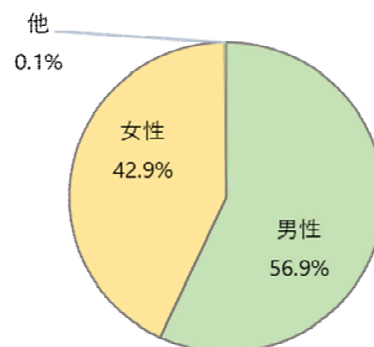
区分	金額
観光消費額	693 億円
観光消費額単価	11,256 円

3. 調査結果の概要

(1) 来訪者アンケート調査（日本人対象） [回答数：5, 842]

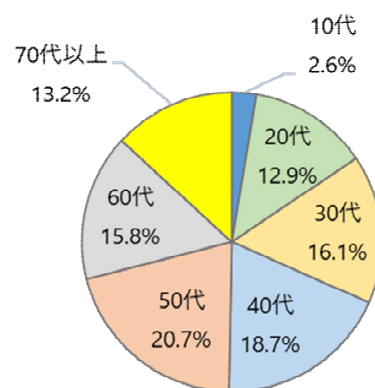
1. 性別

区分	回答数	割合 (%)
男性	3,326	56.9
女性	2,508	42.9
他	8	0.1
合計	5,842	100.0



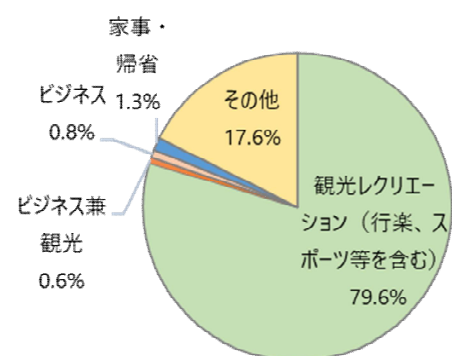
2. 年代

区分	回答数	割合 (%)
10代	154	2.6
20代	756	12.9
30代	938	16.1
40代	1,091	18.7
50代	1,210	20.7
60代	924	15.8
70代以上	769	13.2
合計	5,842	100.0



3. 来訪目的

区分	回答数	割合 (%)
観光レクリエーション（行楽、スポーツ等を含む）	4,650	79.6
ビジネス兼観光	35	0.6
ビジネス	49	0.8
家事・帰省	78	1.3
その他	1,030	17.6
合計	5,842	100.0

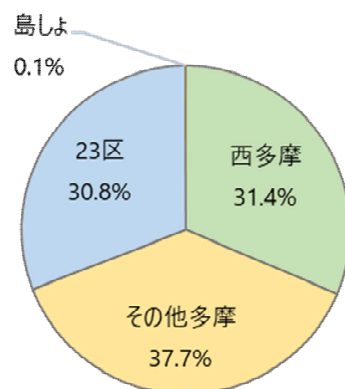


4. 居住地 都道府県別

都道府県	回答数	割合 (%)	都道府県	回答数	割合 (%)
北海道	2	0.03	滋賀県	2	0.03
青森県	1	0.02	京都府	5	0.09
岩手県	2	0.03	大阪府	10	0.17
宮城県	10	0.17	兵庫県	7	0.12
秋田県	1	0.02	奈良県	-	-
山形県	1	0.02	和歌山県	2	0.03
福島県	4	0.07	鳥取県	-	-
群馬県	17	0.29	島根県	-	-
茨城県	34	0.58	岡山県	2	0.03
栃木県	12	0.21	広島県	1	0.02
埼玉県	628	10.75	山口県	-	-
千葉県	206	3.53	徳島県	-	-
東京都	4,187	71.67	香川県	2	0.03
神奈川県	621	10.63	愛媛県	1	0.02
新潟県	7	0.12	高知県	-	-
富山県	-	-	福岡県	5	0.09
石川県	1	0.02	佐賀県	-	-
福井県	-	-	長崎県	-	-
山梨県	26	0.45	熊本県	1	0.02
長野県	8	0.14	大分県	1	0.02
岐阜県	2	0.03	宮崎県	1	0.02
静岡県	20	0.34	鹿児島県	-	-
愛知県	7	0.12	沖縄県	3	0.05
三重県	2	0.03	合 計	5,842	100.00

5. 居住地 都内エリア別

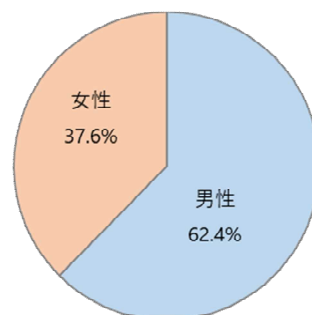
区分	回答数	割合 (%)
西多摩	1,314	31.4
その他多摩	1,580	37.7
23区	1,290	30.8
島しょ	3	0.1
合計	4,187	100.0



(2) 来訪者アンケート調査（外国人対象） [回答数：242]

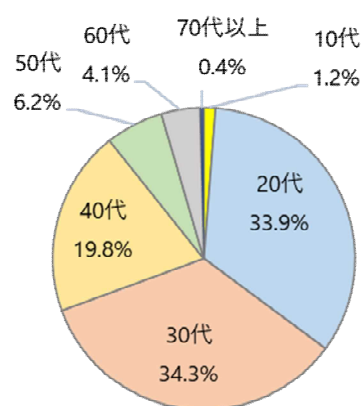
1. 性別

区分	回答数	割合 (%)
男性	151	62.4
女性	91	37.6
合計	242	100.0



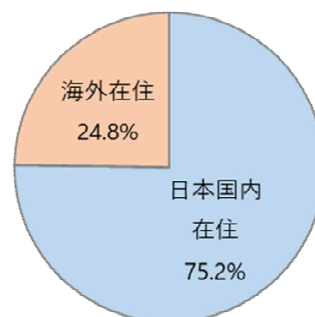
2. 年代

区分	回答数	割合 (%)
10代	3	1.2
20代	82	33.9
30代	83	34.3
40代	48	19.8
50代	15	6.2
60代	10	4.1
70代以上	1	0.4
合計	242	100.0



3. 居住地

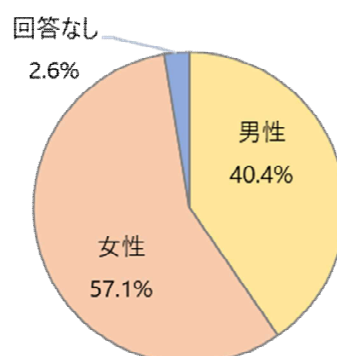
区分	回答数	割合 (%)
日本国内在住	182	75.2
海外在住	60	24.8
合計	242	100.0



(3) 観光消費額等調査 [回答数：1,085]

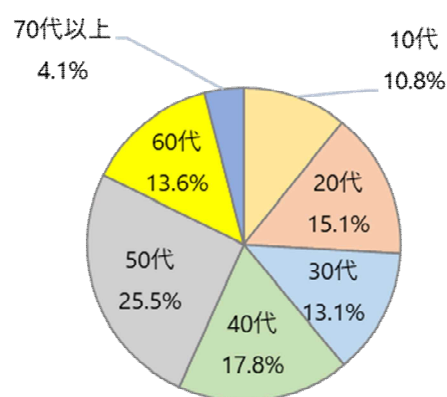
1. 性別

区分	回答数	割合 (%)
男性	438	40.4
女性	619	57.1
回答なし	28	2.6
合 計	1,085	100.0



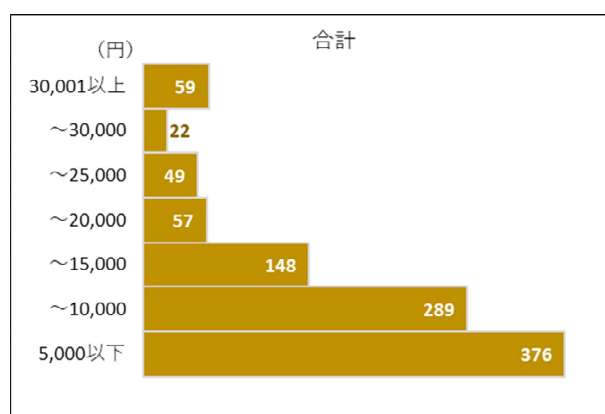
2. 年代

区分	回答数	割合 (%)
10代	117	10.8
20代	164	15.1
30代	142	13.1
40代	193	17.8
50代	277	25.5
60代	148	13.6
70代以上	44	4.1
合 計	1,085	100.0



3. 消費額（各消費項目合計）

合計	
相加平均	11,256
10%トリム平均	8,943
最小	100
最大	272,980
合計	11,255,931
データの個数	1,000
計算除外異常値個数 (件)	4



※100 円未満の回答を計算除外異常値と判断し、除外している。

※最大値と最小値の開きが大きいので、相加平均に加えて、上下のデータを 10% 削除した上で算出した平均値 (10%トリム平均) も併記している。

4. 西多摩地域の観光振興施策への提案

本調査における分析結果を基に、今後、西多摩地域が取り組むべき施策案を以下にまとめる。

(1) 情報発信

S N S等を活用した積極的な情報発信とともに、地域外からの来訪が多いスポットやイベントを起点に、旅ナカ情報の発信を強化する。

(2) ブランド育成

西多摩地域の魅力として広く認知される「豊かな自然環境」を地域ブランドとして更に磨き上げるとともに、その障壁となるオーバーツーリズムの緩和に向けた取り組みを進める。また、地域食材を活用した「グルメ」によるブランディングを図り、商品開発・P Rを強化する。

(3) インバウンド誘客

西多摩地域独自の文化や自然環境を活かしたコンテンツを造成し、海外からの誘客拡大を図る。A I翻訳技術等の活用により、課題である多言語環境の整備に取り組むことも重要となる。

(4) 消費額の拡大

宿泊者数および1人当たりの宿泊数増加を目指し、滞在型観光を推進する。また、土産や体験・アクティビティにおける高付加価値商品の開発、販売強化に取り組む。

(5) 市町村間連携の強化

モデルルートの造成や周遊イベントの企画により地域間移動の活性化を図るほか、東部エリアを中心とした「街歩き型観光」の推進により西多摩地域の多様な魅力を発信する。